

イベント・舞台進行・放送

Wi-Fiやワイヤレスマイクが飛び交う会場でも、1.9GHz帯のsquareは混信しない。親機は進行卓に。



親機の設置場所

1. 舞台袖の進行卓・PA卓・ディレクター席に親機を据え置き、電源に接続します。客席の人垣に遮られないよう、卓上スタンドなどで高さを確保します。
2. ホール全体を見渡せる位置（調整室の窓際、2階バルコニーなど）に置くと、ステージ・客席・ロビーのスタッフまで安定して届きます。
3. 大規模イベントでエリアが分かれる場合は、エリアごとに親機を設置（最大6グループ）。親機同士は離して配置します。



構成例

親機（据え置き）	1台	進行卓に設置。舞台監督・ディレクターが親機で通話に参加可
子機	6～8台	カメラ・音響・照明・フロア・受付など
推奨マイク	SSH-1117 / SSN-1059	長時間向けのオーバーヘッド・ネックセット
16人体制	親機2台 有線連結	子機16台で同時通話（連結中は親機Bluetooth不可）

運用のコツ

- ・ 伝送遅延 約0.05秒。キューの「3・2・1」がずれず、カメラスイッチングや転換の合図が揃います。
- ・ 両手を使うカメラマンや機材オペレーターには、ケーブルのないBluetoothヘッドセット VEXA も選択肢です。
- ・ 本体の録音・外部機器連携用ジャックを使った卓への音声出力は、接続機器をご相談ください。

推奨マイク・ヘッドセット

SSH-1117 オーバーヘッドセット 対応騒音 ～80dB 長時間の連続使用に向く頭装着型。PTTボタン付き。	SSN-1059 ネックセット 対応騒音 ～80dB 首掛けタイプ。帽子・ヘルメットと干渉しにくい。	SSP-1130 タイピンマイク 対応騒音 ～80dB 胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。	SSW-1121 VEXA（Bluetoothヘッドセット） 対応騒音 ～80dB目安 オープンイヤー・ボイスコマンド対応。ケーブルなしで両手が自由。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。